

コミ1☆15ラクガキ帳



18禁

——とあるトラブルで私達カルデアの面々は  
旅館「閻魔亭」でお客様に二年分の満足と感謝を  
得なければいけなくなりました…  
私も仲居として働くことに……

「マシユちゃん…  
やっぱり可愛いねえ  
さあ、こっちおいで♥」

このお客様は、以前女性の仲居さんを専属で  
自分につけて、二年分の『感謝』を二週間で得たそうです  
そのあと仲居さんは姿を消したそうですが……

「おっぱいだけじゃなく  
良いケツもしてるね」  
「きゃっ！？」  
「やめなさいな」

「一緒に吞んでくれたら触らないよ」  
「お…お酒は…」  
困ったお客様ですが…大事なお客様らしく  
逆らわないように言われているので  
飲むフリだけでも……

「あ…あれ？わたし…し…お酒の匂いを嗅がされて…  
 「ん？ぶっ？なに…何を…してるんでひゅか!!」  
 「お、目が覚めたか…」  
 普通の女じゃあないというのには本当らしいな…  
 この催淫酒飲んで意識があるとは…  
 ……さっきまでキモチ良さそうに吸い付いてたのにな」

「催…淫…？ぶぐうっ♡」  
 「ワシが作った特別な酒だ…魔術だの魔力だの  
 関係ない…ただただ強力な催眠薬…  
 効能は三日しか持たんがワシの言うことに逆らえず  
 絶頂すればする程、ワシを好きになり  
 ワシ好みの体と精神になる…中々のモンだろう？  
 ほれ♡感度も上がってもうグチヨグチヨだ♡」

「それより続きだ…舌を動かして  
 ワシの涎をねだれ、マシユ♡」  
 「あ…はひっ…♡ぶひい♡」

嘘…本当に言いなりに…  
 まるで令呪に  
 縛られたサーヴァントみたいだ  
 ダメ…こんな人と下品なキス…  
 助けて…先輩…

ん？



「フン！どうだろ？そこらの若いもんには  
負けんたる！精力だけが自慢でな♥」  
…この人…もう4時間はずっとやり続けて…  
先輩ならこの10分の1も…  
「ひびっ♡やめ…もう…嫌…です…ぶぐらうん♡」

「嫌とか言いつつ何度もイってるだろ!?  
そんなペリスでイってたらワシ好みの  
オゲレツなドスケベ女になるぞ  
この牛乳女が!!」  
「ひびっ!?ひぐらうん♡♡」

「イツ…いつでなひっ♡」  
嫌…最初は嫌だったのに  
言ってたこと…本当…  
嫌じゃなくなって…



「彼氏の為か?耐えるとは  
健気だが…質問に答える  
…これは命令だ!」  
…本当はイってるんだらう?」  
「ひびっ♡つてます!」  
お客様のデカチンポ  
子宮口当たるだけで  
軽イキしてまひゅっ♡  
お客様のチンポ好き♡  
好きです♡もつとしてえ♡」  
やめ…て…私…これ以上…  
ねだらないで…壊れ…る

ヤダヤダ♡♡

「24時間…やっと解放…される  
「ふう…出した出した…お前の愛液と  
ワシの精液でビチョビチョだわ」  
嘘…ですよ？まだ勃起しています…  
「はあはあ…仕方…ない…ですね  
お客様…私のせいでもあるから…  
キレイにします」

さっきまで感じていた嫌悪感…  
なんだったんでしようか…  
今、目の前にあるチンポが  
愛おしくて…どうにかなりそう♡

「薬は切れて命令に縛られなくなったはずだが？  
ぐっ♡上手そうにしゃぶるなあマシユ」  
「こぶえは…皆の為なんでふう…♡  
お客様をもつと…もつと満足ひやへないとお…♡  
んっ…この美味ひい♡もつと…もつと満足ひへんたわい♡」  
「ラフ…こんなスケベ女を提供してくれた  
ココに感謝しなければね…フッフ♡」

んっ♡

# ヨミ1☆15ラクガキ帳

最近  
カルデアの皆が…  
先輩が私を  
探している  
耳にした！

けれど  
今の私は  
一秒でも長く  
満足して  
貰わないと  
いけない！  
お客様…いえ…  
新しい『先輩』に  
…これも皆さん  
『前の先輩』の  
為だから…

「似合ってますか？ぶひっ♡お客…先輩っ♡」  
「クク…ブタになる呪いを回避する為に働いて…結果ブタ耳つけてブタ真似するとは」  
「ああん♡酷いですがそんな言い方…これもカルデアの為なんですから」  
「フフ…元先輩の話はしなくなったな」  
「それじゃあ朝のチンポ勃起体操始めますね♡」

「んほっ♡ふほっ♡ふんっ♡ふんっ♡」  
「ああん先輩の勃起チンポ  
見ながらエアセックスで  
イキますっ♡潮吹きしますうっ♡」

「うっ…マシユのスケベ汁は暖かくて  
元気になるな…本当にドヘンタイな  
下品女になって嬉しいぞ」  
「ああ…♡違っつて言ってるじゃないですか…  
これは全部…皆の為…私が悦んでシてる  
訳じゃないんですから…」  
「ほう…なら今日はおチンポお預けにして  
フェラとパイズリだけにしておくかな」

んん

「ああ…そ…そんな事言わないでください！  
お詫びの尻スリしますっ！耻ずかしいオナラも…  
ぶんっ♡ぶんうらう♡」

ズビィ

「クク…尻文字で  
チンポ…か  
いいだろう…」

ズビィ

「豚女…これからずっと  
ワシが飼ってやるからな！  
鳴け！俺好みの鳴き声で…！」

「ぶんっ♡ぶんいい♡  
尻叩きずきい♡ぶんっ♡すくいぐっ  
尻コキあぐめえ♡…飼ってください♡  
ずつとこのチンポいれてください♡  
せんばいい♡ぶんいい♡」



「あ……ああ……♡ぶひっ……♡んひっ♡」  
「ふう……お前の姿を見てると年甲斐もなく張り切ってしまうな……明日には此処を発つ……お前もついてくるなり？」  
ワシの自宅でも四六時中犯してやるぞ」

この言葉を聞いて……  
その時の私の頭には  
他の事は思い浮かばなかった  
カルデアのことも……  
元先輩のことさえも……

「イキますっ♡先輩のチンポケースになつて  
年中孕ませセックスしてくださいっ!!」  
私も……もつとスケベで下品な女になりますから♡  
誰にもお別れ言わず……すぐにもイキたい♡  
イキたいですっ♡んひっ♡」

ブ  
ビ  
ン

最低の言葉を吐いて最低の行為をする  
自分に興奮して……またイッた……  
もう……戻れないみたいです  
……ゴメンナサイ……センパイ……

ん  
ん  
ん



■おまけ(その後のお風呂)



きゅんきゅん  
きゅんきゅん  
きゅんきゅん

ちゅ  
ちゅ

きゅんきゅん  
きゅんきゅん  
きゅんきゅん

きゅんきゅん  
きゅんきゅん  
きゅんきゅん  
きゅんきゅん

キョ  
キョ  
キョ

きゅんきゅん  
きゅんきゅん  
きゅんきゅん  
きゅんきゅん



♡♡♡...♡♡♡  
♡♡♡...♡♡♡

♡♡♡...♡  
♡♡♡♡♡♡♡♡♡  
♡♡♡♡♡♡♡♡♡  
♡♡♡♡♡♡♡♡♡

絶対にはらませ  
♡♡♡♡♡♡♡♡♡  
♡♡♡♡♡♡♡♡♡

◻奥付◻

- 発行日 2019. 04. 29
- 誌名 コミ1☆15ラクガキ帳
- 著者 武田弘光
- 発行 真珠貝
- 印刷 株式会社 緑陽社
- Email pearl\_shell@wing.ocn.ne.jp
- TWITTER <https://twitter.com/shinjugai>